

2024 年 7 月 1 日
2025 年 5 月 26 日一部改定

ディクスホールディングス株式会社
代表取締役社長兼 CEO 戸邊 光男

<ディクスグループ>
日本ディクス株式会社
株式会社 i T パートナース
株式会社エヌステージ

ディクスグループ中期経営計画（概略）

1. 中期事業計画策定の背景

当社グループでは、ITの進化や市場変化に対応すべく、3ヶ年ごとに中期事業計画を策定しております。

- ① グループ企業価値の向上
- ② 社員満足度の向上
- ③ 経営基盤の向上

を目指し、グループ理念“ITを通じて社会・企業・個人を繋ぎ『快適で安心できる未来への実現』に貢献していく”、ならび経営指針に基づき、2025年3月期を開始期とした3ヶ年の中期経営計画を策定いたしました。

2. 基本方針

- (1) 人的資本への投資と投資によるビジネス成長
- (2) コーポレートガバナンスの確立

3. 数値目標

本中期事業計画策定時におきましては、最終年度に売上 10,000 百万円、営業利益 700 百万円（営業利益率 7%）を目標といたします。

4. 成長戦略・重点テーマ

(1) 事業資源の確保・向上（採用育成戦略）

①人材採用

新規学卒者、第二新卒といった若手未経験者の採用強化に取り組みます。また、福岡・大阪・伊万里といった営業拠点を活かし、地方の雇用創出を視野に入れた人材獲得を目指します。

②人材育成

人材育成制度を見直し、階層別研修を体系的に整備いたします。役割毎に求められるスキルを明示し、計画的に取得推進することにより、リーダー層の安定した成長を促進します。それらを効果的に実施するため、人材育成機能組織や人材育成専任者を配置します。

③人材マネジメント

採用・育成を通して女性リーダーや管理職の登用を推進して参ります。また、専門部署を設置し、障害者雇用に注力いたします。
人事制度の改革を行ない、よりよい働き方を推進いたします。

(2) 収益の確保・改善

①顧客戦略

事業方針に沿った取引先と信頼関係をよりいっそう深めて参ります。また、グループ内事業会社間の顧客基盤を共有・開放し、横断的なビジネス獲得に取り組んで参ります。

②技術戦略

チーム体制強化を目指し、プロジェクトリーダー・プリセールス対応者の増員育成を推進します。

(3) 経営基盤の整備

①グループ経営戦略機能の確立

迅速・高度な経営判断のためヘッドクォーター機能を強化し、経営と執行の分離を図ります。

②ガバナンスの強化

会計システム、給与システムを刷新いたします。また、販売管理システムを工事進行基準に対応いたします。

5. IT市場における成長分野（DX）の状況と当社グループの取組みについて

日本におけるDXの市場規模は約7兆円超（2023年度）に達しており、2030年度には9兆円超に拡大すると予想されています。

- ・「労働需給のタイト化」
- ・「通信環境整備・生成 AI 等新技術の登場」により、

D X の取組みは益々需要が高まっております。

当社グループは、D X 市場の発展を事業の更なる成長機会と捉え、D X の実現に必要なデジタル技術要素 (※) のうちクラウドを中心に、以下に取組んで参ります。

※デジタル技術要素 (人工知能、ビッグデータ、クラウド、サイバーセキュリティ、デザイン思考など)

- ①知的集約・サービス提供ビジネスへの革新
- ②顧客基盤・対応態勢の革新
- ③バックオフィス業務の改革

※上記①②については、筆頭事業会社である日本ディクス株式会社を中心に (各事業会社にて) 推進して参ります。

※上記③については、各事業会社の事業推進部門及び当社コーポレート部門にて推進して参ります。

※当社グループのD X戦略については、改めてお知らせいたします。

以上